

こ う だ  
高田地区(第2期)都市再生整備計画  
(第7回変更)

ながよちよう  
長崎県 長与町

令和7年 3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	長崎県	市町村名	長与町	地区名	こつだたいき 高田地区(第2期)	面積	70ha
計画期間	令和3年度～令和7年度	交付期間	令和3年度～令和7年度				

目標
大目標 安心・安全で快適な環境づくり、住民が主役となる地域づくり 目標1 快適でゆとりある心豊かな暮らしを支える居住環境の整備 目標2 安心・安全なまちづくりに向けた避難環境の形成及び道路環境の整備
目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 本地区は長与町の西部に位置し、県都である長崎市に隣接する立地に加え、JR道ノ尾駅、主要地方道長崎多良見線及び川平有料道路長与ICを要する交通の要衝であり、生活利便性の高い地域である。 しかしながら、JR道ノ尾駅を中心とした既成市街地は道路が狭路で老朽化した住宅が密集し、災害などの緊急時に対する防災上の問題が懸念されていた地区であり、市街地の整備改善が強く求められていた。そこで、道路や公園などの公共施設の整備により、地区の防災性の向上、土地利用の促進及び生活環境の改善を図る目的で昭和60年度から土地区画整理事業が行われており、現在も整備が進められている。 また、本町において増加傾向であった人口が、横ばいから減少傾向にあり、長崎市のベッドタウンとして住宅地としての需要が高い本地区において、土地区画整理事業による宅地の整備が進むことで、人口減少に歯止めをかけることが期待されている。 住民に対する意向調査では、現在の生活環境を総合的に見て、本町を「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と感じるとの回答が約9割近くに上るものの、商業の振興、公共交通機関や道路の整備などの分野で満足度が低い状況にある。また、本町が今後目指すべき将来像としては、子育て支援、産業・雇用の振興、道路・交通の充実などのキーワードが挙げられている。 このようなことから、本地区においても平成17年から取り組んでいる「長与中央地区」以降、長与中央地区(第2期)、高田地区の各都市再生整備計画事業により、本町のまちづくりのテーマである「住みたい・住み続けたい・住んでよかったと言われるような幸福度日本一のまち」の実現に向けて、土地区画整理事業による面的整備や道路、公園等の公共施設の整備を進め、将来的に定住人口を同地区内に集中させることにより、まちの賑わいが感じられ、人と人との繋がりが保たれた全ての世代において安全で住みやすいコンパクトなまちづくりを推進している。
課題 ・避難施設へのアクセス路の整備及び公園整備、防災拠点の整備による防災性の向上 ・子育て世代が安心して暮らせる市街地、公共施設等の整備促進 ・土地区画整理事業の促進に伴う未整備路線の早期整備による交通混雑の解消 ・土地区画整理事業に伴う土地利用の促進及び生活環境の向上による本町への居住誘導 ・新市街地である当該地区のコミュニティの醸成 ・地区内外の災害時の防災拠点(避難所)の確保
将来ビジョン(中長期) 【長与町第10次総合計画(令和3年3月策定)】 まちの将来像:「人・緑・未来 つなぎ はぐくむ ながよ ～幸福度日本一のまちをつくる～」 ①「未来の産業創出に向けたまちづくり」②「訪れたい、住んでみたい魅力的なまちづくり」③「すなでお元気な長与っ子育成」④「健康づくりと長生き・安心まちづくり」の4つの戦略プロジェクト ＜施策24 市街地の整備＞ 自然環境と調和した、誰もが暮らしやすい魅力的な市街地の形成 ＜施策27 道路の整備＞ 暮らしと経済活動を支える道路網の整備推進  【長与町都市計画マスタープラン(令和5年3月改定) 当該地域の将来像:「緑豊かな環境と共生し 暮らしやすい丘陵住宅地域」 長与町都市計画マスタープランにおいて高田地区は、長崎市と一体的な日常生活圏を構成する西部地域の一部地区として位置づけられており、以下のまちづくりが求められている。 ・都市計画道路の整備を推進し長崎市方面の交通の円滑化を図るとともに、本地区及び本町の道路ネットワークを充実して利便性の向上を推進する。 ・高田南土地区画整理事業を推進して都市計画道路と住宅地の整備を図るとともに、生活利便施設が整った暮らしやすいまちづくりを図る。

都市再生整備計画事業の計画
防災拠点整備方針 本地区は、長与町都市計画マスタープラン(令和5年3月策定)のゾーニングにおける「いいこのゾーン」に位置し、土地利用の基本方針の1つとして、「道路・公園などの都市施設の整備による防災拠点・オープンスペースの確保」を掲げていることから、日常生活の場として便利で快適な住環境の整備を図るとともに、災害等の発生を想定した土地利用及び都市施設の整備に加え、地区コミュニティの強化を図りながら防災拠点の整備を推進する。 また、長与町国土強靱化地域計画(令和2年5月策定)における自然災害を想定した脆弱性評価結果の課題に対する推進方針に基づき、避難場所の確保や避難道路の整備など自然災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られる環境整備を推進するために、防災拠点の整備と併せて備蓄管理体制の確立や水道の代替性確保、交通インフラの強化など生活・経済活動に必要最低限のインフラ・交通ネットワークの確保を図る。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
居住人口	人	計画区域内の居住人口	整備効果により本地区内の生活環境やまちの魅力が向上し、定住人口が増加すると考えられるため、その効果を図る指標として計画区域内の居住人口を設定する。	2,884	R2	4,044	R7
市街地整備への満足度	%	計画区域内における市街地整備への満足度	計画区域内の居住人口と併せ、本地区に居住する者の市街地整備への満足度を調査（アンケート調査等）し、整備効果を図る指標として設定する。	37.2	R2	60.9	R7
避難施設への移動時間	秒	計画区域内北部地区における避難施設への移動時間	（仮称）町道柳田榑林線の整備により、計画区域内北部地区における避難施設への避難時間の短縮を図る指標として設定する。	216	R2	81	R7

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1【居住環境の整備】 ・暮らしの質の向上に資する道路や公園などの都市基盤の整備を図る。 ・快適でゆとりある居住環境の形成に向け、土地区画整理事業を推進する。		【基幹事業】(道路)(仮称)町道柳田椿林線整備事業 【基幹事業】(公園)(仮称)道ノ尾街区公園整備事業・(仮称)平尾公園整備事業 【基幹事業】(土地区画整理)高田南土地区画整理事業 【基幹事業】(高次都市施設)高田南地域交流センター(仮称)整備事業 【関連事業】高田南土地区画整理事業
	整備方針2【安心・安全を目指した避難環境の形成及び道路整備】 ・交通安全の向上を図るとともに、災害時の避難路、一時避難施設の整備を図る。	【基幹事業】(道路)(仮称)町道柳田椿林線整備事業 【基幹事業】(公園)(仮称)道ノ尾街区公園整備事業・(仮称)平尾公園整備事業 【基幹事業】(土地区画整理)高田南土地区画整理事業 【基幹事業】(地域生活基盤施設 地域防災施設)耐震性貯水槽整備事業、備蓄倉庫整備事業 【基幹事業】(高次都市施設)高田南地域交流センター(仮称)整備事業 【提案事業】(地域創造支援事業)防犯灯整備事業・カーブミラー整備事業 【関連事業】高田南土地区画整理事業 【関連事業】自主防災組織活動拠点施設整備事業
その他		土地区画整理事業による宅地造成に伴う当該地域内への人口流入に備え、新たに2つの自治会を設立することとしている。 地区コミュニティの衰退は、本町においても大きな課題であり、長与町第10次総合計画(令和3年3月策定)においても地区コミュニティ活動の推進、自治会活動の推進等の施策を掲げ、行政と地域の協働によるまちづくりを掲げている。 内発的發展を支える地域づくりを考える上で、地区コミュニティや自治会は住民による地域づくりの基礎となる単位であり、地域への誇りと愛着の醸成だけでなく、災害対応力の向上など様々な存在意義を有するものである。 地域に住む一人一人の住民自身が、学習や対話を通じて、地域社会の課題解決や、防災・減災に対する意識向上に加え、災害発生時に防災機能を十分に発揮するための防災拠点施設をそれぞれの地区に整備する必要がある。

様式(1)-④-3

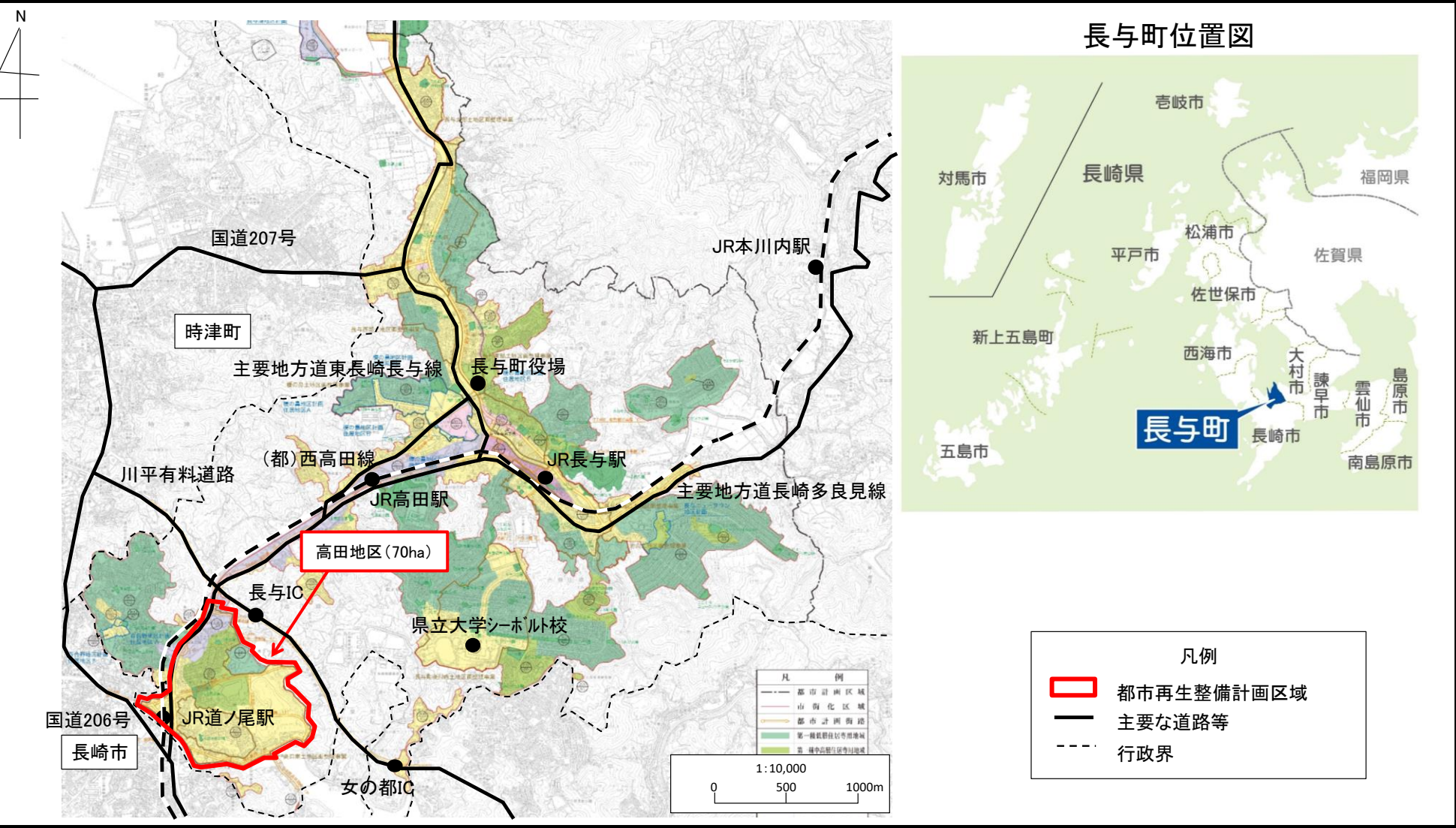
(金額の単位は百万円)

...A

...B

[illegible]

こうだ 高田地区(第2期)( <sup>ながよちょう</sup> 長崎県長与町)	面積	70 ha	区域	長与町 高田郷の一部
---	----	-------	----	------------





こうだ ながよちょう  
高田地区(第2期)(長崎県長与町) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業(防災・安全交付金))

目標	大目標 安心・安全で快適な環境づくり、住民が主役となる地域づくり	代表的な指標	居住人口 (人)	2,884	(R2)	→	4,044	(R7)
	目標1 快適でゆとりある心豊かな暮らしを支える居住環境の整備		市街地整備への満足度 (%)	37.2	(R2)	→	60.9	(R7)
	目標2 安心・安全なまちづくりに向けた避難環境の形成及び道路環境の整備		避難施設への移動時間 (秒)	216.0	(R2)	→	81.0	(R7)

■基幹事業(公園)  
(仮称)平尾公園整備  
事業期間:R5~R6

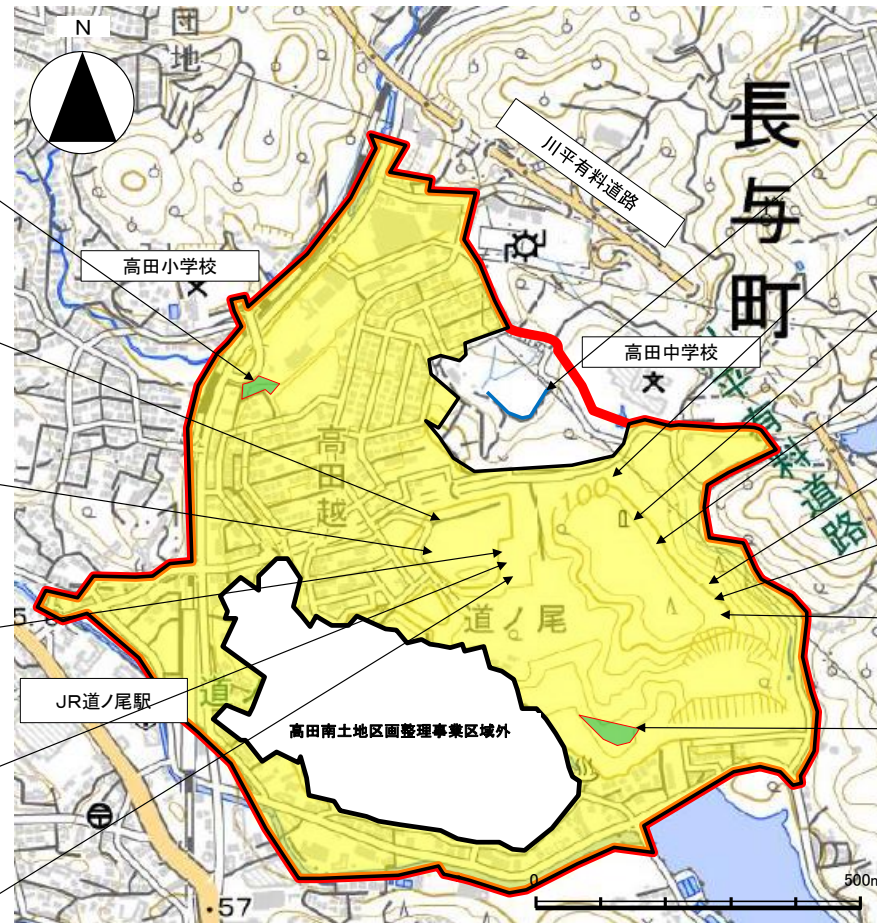
□提案事業  
(地域創造支援事業)  
防犯灯・カーブミラー設置  
事業期間:R4~R6

□提案事業  
事業活用調査  
事業期間:R7

■基幹事業(高次都市施設)  
高田南地域交流センター整備  
さくら野西(仮称)  
事業期間:R6

■基幹事業(地域生活基盤施設)  
備蓄倉庫整備(さくら野東)  
事業期間:R6

関連事業  
自主防災組織  
活動拠点施設整備事業(さくら野西)



■基幹事業(道路)  
(仮称)町道柳田椿林線整備  
事業期間:R5~R6

■基幹事業(区画)  
高田南土地区画整理事業  
事業期間:R3~R7

関連事業  
高田南土地区画整理事業

■基幹事業(地域生活基盤施設)  
耐震性貯水槽整備  
事業期間:R4~R6

■基幹事業(高次都市施設)  
高田南地域交流センター整備さくら野東(仮称)  
事業期間:R7

■基幹事業(地域生活基盤施設)  
備蓄倉庫整備(さくら野東)  
事業期間:R7

関連事業  
自主防災組織  
活動拠点施設整備事業(さくら野東)

■基幹事業(公園)  
(仮称)道ノ尾街区公園整備  
事業期間:R4~R6

## 凡 例

■	基幹事業
□	提案事業
- - -	関連事業